



気を抜かずに継続しよう！ 哺育牛の寒冷対策

立春を過ぎ、長い冬の終わりが少しずつ見えてきました。今年の2～4月の気温は高い見込み（気象庁）ですが、子牛にとってはまだ「寒い」と感じる季節です。元気な子牛を育てるために、気を抜かずに哺育牛の寒冷対策を継続しましょう！

寒冷対策は4月下旬頃まで必要です

図1は、1月～4月の管内の観測地点における旬別日平均気温と旬別日最低気温（平均）の推移を示したものです。

肉用哺育牛の生産環境限界温度※1は5℃です。日平均気温は3月下旬まで5℃を下回り、4月以降でも日最低気温は5℃を下回る日が続きます。このため、哺育牛の寒冷対策は4月下旬頃まで必要です。

※1 生産環境限界温度は生産性に影響を及ぼす気温のことです。

肉用哺育牛の生産環境限界温度		
適温域	低温側	高温側
13～25℃	5℃	32℃

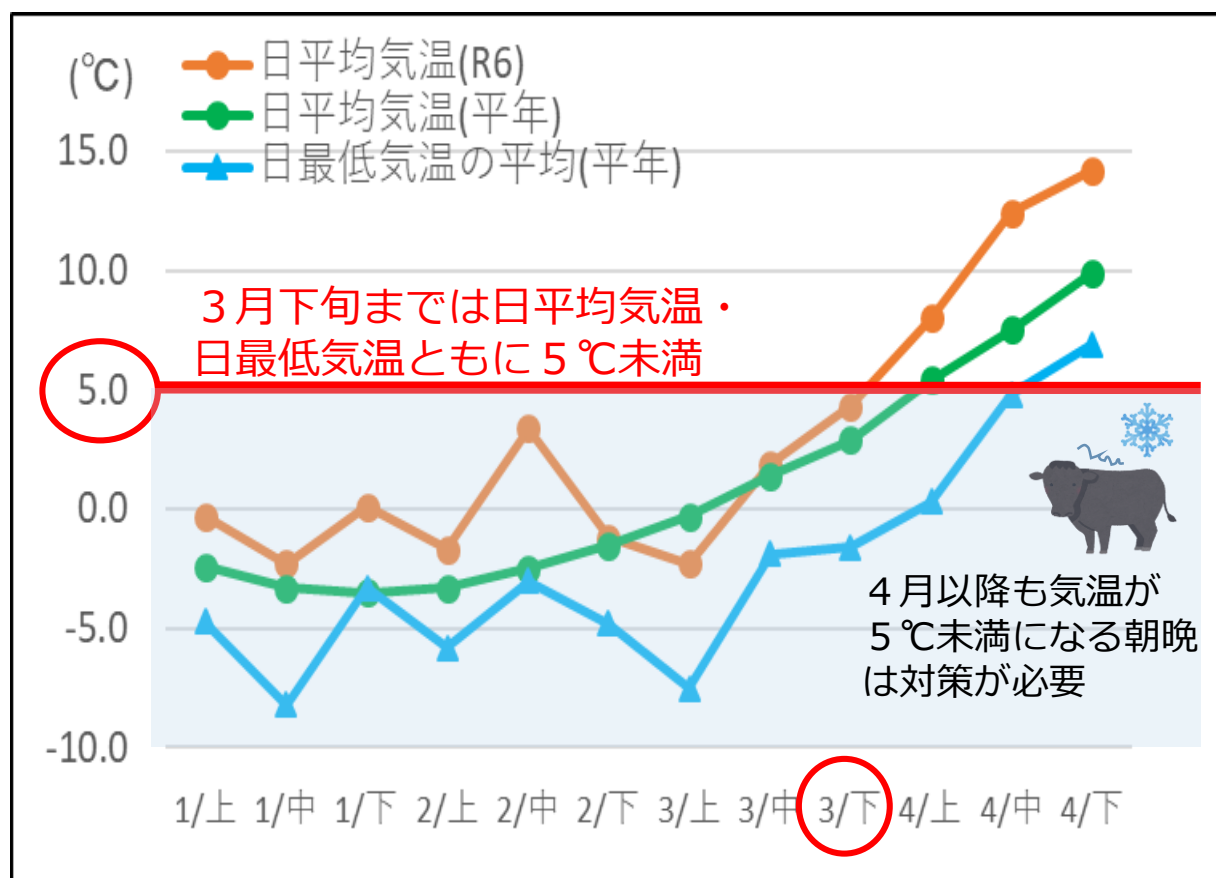


図1 八幡平市松尾の旬別日平均気温・日最低気温の推移（アメダス）

保温にはカーボンヒーターを使いましょう

図2、3は、カーボンヒーターと投光器それぞれの保温範囲を示したものです。

カーボンヒーターでは150cmの高さからでも牛床温度が周辺部より10℃程度高くなるのに対し、投光器では60cmの高さでも中心部の温度が少し上昇するだけでほとんど保温効果がありません。

また、投光器本体は高温になるため、火災の原因となることがあり危険です。

カーボンヒーター

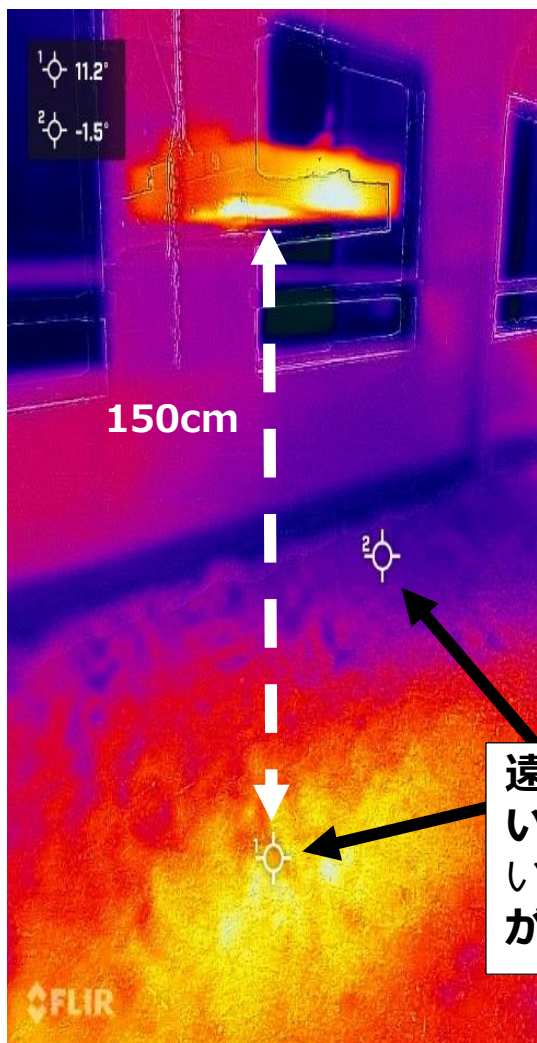


図2 カーボンヒーターによる牛床温度の状況（R6.12.17撮影）



3灯2100wタイプのヒーターを弱モード（2灯1000w）で床面より150cmの高さで使用した場合

投光器

本体から60cm下の温度分布（真上からみた場合）

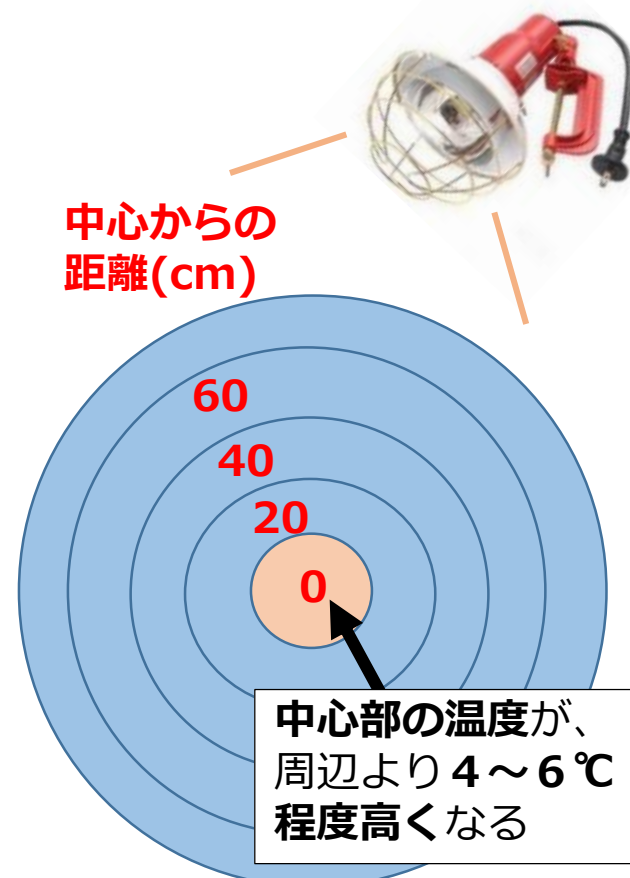


図3 投光器の保温範囲の模式図（R6年度肉用牛生産性向上研修会 鍋西氏資料より）

冬期にはカーフウォーマーの使用が効果的

出生直後の子牛の被毛の乾燥にはカーフウォーマー※2がおすすめです。

子牛の被毛を早期乾燥させるメリットは、
 ①体温が奪われるのを防ぎ、②エネルギーの急激な消費を抑え、③哺乳欲・④免疫グロブリン吸収能を高めることができます。



内部にはすのこがあり、糞尿が下に落ちるため腹が冷えません。すのこ上に人工芝を敷くため子牛も快適です。カーフウォーマーは十数万円で購入可能です。

※2 カーフウォーマー（子牛加温器）は、出生直後の子牛を早期乾燥させるドーム型の加温器のこと。ドーム下部から温風を送ることで濡れた子牛の乾燥・保温が可能。

図5は、カーフウォーマーの電源を入れた後の、時間経過に伴う内部の温度変化を示したものです（子牛は入れない状態）。

調査時の外気温は0℃前後でしたが、温風を送り始めて約20分後に内部は30℃に達していました。

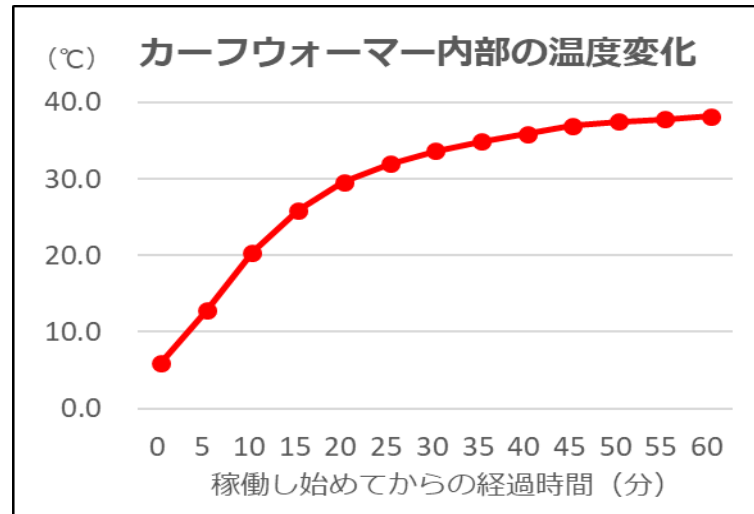
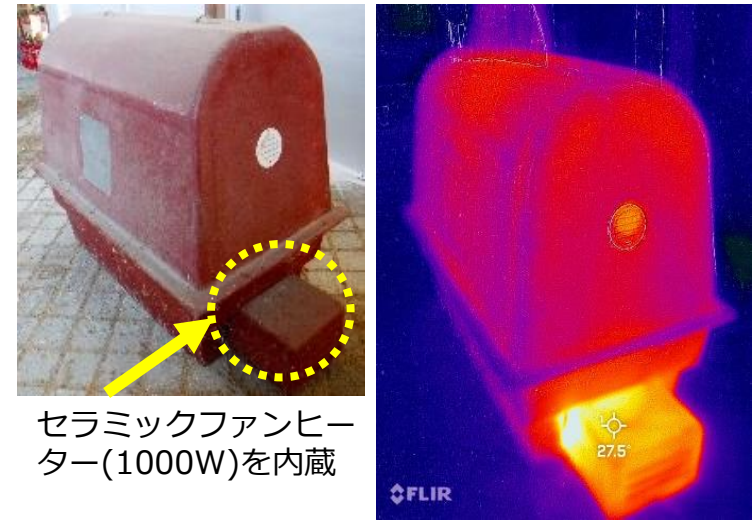


図4 カーフウォーマー内部（すのこ上）の温度変化（R6.12.17調査）



セラミックファンヒーター(1000W)を内蔵

図5 温風送風時のカーフウォーマーのサーモ画像（R6.12.17撮影）

【使用している生産者の声】



早朝に生まれた子牛を入れると、昼前に完全に体表が乾きます。子牛の哺乳欲も高まり、初乳が給与しやすいです。



出生後に元気がなかった子牛をカーフウォーマーへ入れたところ、数時間後には元気になりました。

【使用上の注意】

- ・使用前後に糞尿除去、洗浄・消毒、乾燥を行う。 ⇒ 面倒がらずに1頭毎にやるのが大切です！
- ・性能低下防止のため、ヒーター本体やフィルターも洗浄する（機種により水洗い可）。
- ・子牛を入れる時間は3～6時間を目安とする。脱水症状防止のため換気口を開け、時々子牛の様子を確認する。
- ・火災予防のため周囲に乾草等を置かない状態で使用する。

《子牛を大きく育てよう！》～岩手県肉用牛飼養管理マニュアルから～

○離乳のポイント

離乳のタイミング

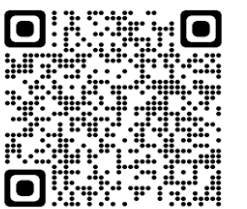
スターターの摂取量（最低2kg/日以上を安定的に摂取）を目安に発育、被毛の状況などを踏まえて判断しましょう。

離乳のストレスを減らす工夫

離乳時のエサ・環境の変化は、子牛にとって大きなストレスになるため、エサの食い込みが落ちたり、免疫機能が低下したりする恐れがあります。離乳のストレスを減らすため、命の方法に取り組んでみましょう！

- ・ 育成用配合飼料に慣らしてから母牛と分離（移動）する
⇒ スターターに育成用配合飼料を混ぜ、約2週間かけて段階的に変更する
- ・ 子牛ではなく、母牛を移動する
- ・ 群を移動するときは、できる限り一斉に動かす
同時に2つ以上のストレスがかからないようにしましょう！

マニュアルのダウンロードはこちら→



離乳は牛の生涯の中で最初に訪れる一大イベントです。離乳を上手に乗り越えられたら子牛の管理はほぼ成功といえます。

